

#### (4) 構造分析のコツ

ここからは文に SVOCM と品詞の記号を振る構造分析を行ってゆきます。その流れを掴みませう。

〈大きな流れ〉

①まづは文を漠然と頭から読んで意味を捉へて良い (→本来構造分析は、「あまり意味がはつきりしないなあ」と感じる時に使ふ技)。

↓

②次に SVOCM を考へる (品詞は後回し)。大きなかたまりで捉へること。

↓

③最後に品詞。品詞も 大→小 (節→句→単語)へと考へる。

〈ヒント〉

- ・ SVOC に迷つたら、V の意味を考へよう (日本語で考へて「～を」が付くかな?)
- ・ 動詞の後に前置詞+名詞が来てゐたら、M の場合が多い (例へば He went to school yesterday. の to school)

「こんな文なら構造分析をやらずとも、意味は分かる」と思ふかも知れませんが、トレーニングとして分析しませう。簡単な文で繰り返して反復練習することで、難しい文も解釈できるやうになつてきます。

→実践演習 Part B へ